

四季通し体験観光プラン

吉野川市の美郷商工会は、一年を通した体験型観光を研究する「美郷・春夏秋冬365体験メニュー

づくり事業」の推進委員会を発足させた。来年2月末までにプランをまとめる。

美郷商工会

具体化へ推進委発足

呼び込み策など意見交換



事業では、梅干し作りなど地区住民の生活の知恵を生かした三百六十五の体験メニューを開発する。交流人口の増加を狙いで、経済産業省の「地域資源∞全国展開プロジェクト」の補助金八百万円を受けて行う。

推進委は、県地域づくりコーディネーターの米田博さんを委員長に旅行会社や行政、商工会関係者ら十二人で構成した。

体験型観光メニュー作りを協議する委員会の初会合＝吉野川市の美郷ほたる館

具体的に調査、研究するためのワーキング委員会十五人も設けた。

美郷宗田の美郷ほたる館であった初会合では「梅の花見、収穫、梅酒造りと、観光客が定期的に来られるメニュー作りも一つの手法」「地域間競争に勝てる魅力が必要」といった意見が出た。